

私たちが体験しました！

見たことがない種類の腕時計を見るのが楽しみです。自分が知らないことを学べたらいいなと思います。

中学2年生 美智花さん



どのような人がどんなことをしているのを知りたいです。理解できるように精いっぱい頑張ります！
中学2年生 夢芽さん

1 会社のことや時計作りのこだわりを学ぶ

事業のコンセプトや商品の特徴、そこに込められた思いなどを知ることからスタート。文字盤とベルトの組み合わせを自由に選べるスタイルやリーズナブルな価格設定など、心引かれるポイントがたくさんありました。



ものづくりへの熱い思いに触れ、スライド資料を見つめる目も真剣です

種類が豊富で楽しい！



組みひもや印伝（いんでん）など、さまざまな伝統工芸と腕時計が融合

こだわりのすごいな～



美術部に所属する2人はデザインにも興味津々

日本の伝統工芸とコラボレーションしたコレクション



中学生記者が仕事を体験！

むさしの仕事図鑑

時計メーカースタッフ

ってどんな仕事？

新商品の企画立案を行うマーケティング企画職、開発や設計、組み立てなどを担う技術職、店舗で接客や販売をする販売職など、多種多様な職種の人が連携し、時計の製造からセールスまで行っています。

ここで体験！



株式会社 Knot

2014年に吉祥寺で誕生した「カスタマイズウォッチ」のブランド。「ジャパン・クオリティを世界に届ける」をビジョンに掲げ、文字盤やベルトに日本各地の伝統工芸や技術を取り入れた腕時計を企画製造販売しています。

吉祥寺本町2-33-3
マンションオオクラ1F
TEL：0422-27-6360

カスタマイズの楽しさと日本のものづくりの素晴らしさを伝え、とっておきの時計選びをお手伝いします



Knot 吉祥寺
ギャラリーショップ本店
アドバイザー
中尾美保さん

夢芽さん 仕事で海外の方と交流する機会がありますか？

中尾さん 吉祥寺は東京駅からもアクセスがいいので、最近海外からのお客様が増えています。「君たちのブランドは友達の間で人気だよ」といった、うれしいお話をしてくださる方もいます。特に着物に用いられる素材などは、「キノノ！」と良いリアクションがいただけますね。
美智花さん あまり知られていない作業があれば教えてください。

中尾さん 在庫がなくなった商品の発注や日々の営業報告など、見えないうちで事務的な作業も結構多いです。あと、企画に合わせてディスプレイを変更したりもします。

夢芽さん 一つの商品にいろいろな人が携わっているのを感じる瞬間

3 電池交換などの修理部門を体験

販売した商品の修理やメンテナンスなど、アフターケアも大切なサービス。小さく精密な部品を扱うため、専門知識を持つ技術者が細心の注意を払い作業に当たります。時計修理の基本といえる電池交換に挑戦しました。



時計の裏ぶたを開けるための開口の位置を確認

小さな隙間がある!



作業内容により倍率の異なる拡大鏡を使い分けているそう



専用の工具を使っての細かな作業に、電池を外すだけでも一苦勞

体験を終えて

日本の伝統的な柄など、細かいところまで意識して作られているということが伝わってきて、奥深いなと感じました。文字盤とベルトを選ぶのが楽しかったです。(美智花さん)



カスタマイズを提案したり、修理をしたり、たくさんの仕事があると分かりました。お客様の気持ちを第一に考えながら、伝統的なものやコストにこだわっているのがすごいと思います。(夢芽さん)

2 店舗で販売の現場を体感

お客さんに腕時計のカスタマイズ体験を楽しんでもらうとともに、素材に関する背景やストーリーを伝え、商品の提案を行うのがアドバイザー(店舗スタッフ)の役割。「吉祥寺ギャラリーショップ本店」で、その接客を体感しました。



「文字盤とベルトを合わせて試着してみよう」と、ベルトの取り付け方・外し方を教えてもらいました



これもおステキだな...

デザインや素材の説明を聞くほど、商品の魅力に引き込まれます



お気に入り completes!

それぞれの好きなコーディネートが出来上がり!

ありますか？

中尾さん 色の入り方や模様は個性差がある商品は、それだけで人の手仕事で作られていることが伝わりますし、店舗ではパートナー企業の方の動画を流しているのでも、「この商品はこうやって作られているんだな」と知ることができ、人のつながりや温もりを感じます。

美智花さん 今の仕事に就いて、ご自身が変わったと思うのはどんなことですか？

中尾さん お客様がどう思うかという思いで時計を手にとってくださいているのは一人一人違います。相手の気持ちに寄り添って話を聞く姿勢や、好みや志向を知るための言葉を引き出す能力は、ここで身に付いたものだと思います。

夢芽さん アドバイザーをしているとセンスは自然に身に付きますか？

中尾さん 毎日商品を見ていると、デザインや配色によって、この文字盤にはこういうベルトが合うというのは分かってくるかなと思います。でも、私が良いと思う組み合わせをお客さまが好きとは限らない。だから、決めつけたりせずに、対話を通してイメージに合ったものをご案内することを心掛けています。